

凡人・ビー・アンビシャス

中央大学文学部人文社会学科国文学専攻 4 年
インターン期間 2011 年 8 月～9 月中旬
2012 年 4 月 株式会社エンターブレイン総合職 内定

凡人は全力になれ

あなたは今、夢に向かって全力でしょうか。某 CM ではありませんが、熱意だけではどこにも受かりません。編集になりたい！ でも編集者として何か学ぶのは嫌だ！ などと言っていてはどこにも受かりません。なぜなら、出版社というのは、夢に向かって全力な猛者たちの集まりだからです。もちろん、中には天才肌の人もいて、「なんとなく受けたら内定もらった」と言う人もいます。しかし自惚れてはなりません。九分九厘の人が、凡人なのです。その凡人の一人である私は、編集者が何をやるのか知らないまま出版社（編集者）を目指してはならないと思い、ナイスクのインターンシップを始めました。

ワンパック企画書

私の場合、マスコミは出版社しか受けていないので、出版社のみの体験談になります。出版社の選考で、必ず登場するのは「企画」という存在です。もしナイスクで企画書のレクチャーを受けていなかったら、私は戸惑ってしまっていたでしょう。就職活動を始めたらず知らず知る「みんなの就職活動日記」を見ると一目瞭然です。企業のことを考えるあまり、「予算を組んだほうが」「枚数は多い方が考えていると思われる」などと悩んでいる方を見かけました。レクチャーを受ければ、何をどのように書けばいいのか、即解決します。

これだけではありません。コミュニケーション能力の向上にも役立ちます。企画書は一人では完成できないものだからです。色々な人に意見を聞いて回って、コミュニケーション能力を身につけるチャンスです。それだけで、目上の方々とのお話になれます。就職活動の面接は、目上の方といかに楽しく話せるか、が重要になります。ここで目上の方とのお話になれておくと、面接時に極度の緊張状態にはならないはずですよ。

加えて、レイアウトをする力もつきます。私が受けた出版社にはありませんでしたが、筆記試験で雑誌を企画し、レイアウトまで書かせるところもあるようです。どんなレイアウトが見やすくインパクトがあるのか、企画書づくりで学ぶことができます。

つまり企画書レクチャーには、①企画書を作る能力②コミュニケーション能力③魅力的なレイアウトを作る能力の3つを身につけられる、お得なワンパックレクチャーなのです。

企画書以外にも、日常生活や他のレクチャーで学ぶことが山ほどあります。それらを活かして、就職活動に励んでください。ナイスクでインターンシップをした後は、熱意と実力を兼ね備えた、ステキな「全力凡人」になっているはずですよ。